

Ensemble

『武満 徹、東京、70』

武満徹没後10年に際し、創作の現場が熱く沸騰していた東京の70年代を振り返ってみてはどうだろう。その頃現代音楽の聴衆は今より少なかったが、その分作曲家は大胆に新舞っていたように見える。この一つのエピソードを切りとったプログラムは、今の聴衆や作曲家に何を語りかけるのでしょうか。

Ensemble NOMAD 2005-06

アンサンブル・ノマド

定期演奏会 #29

佐藤紀雄(音楽監督/ギター)

本ノ脇道元(フルート)、菊地秀夫(クラリネット)、甲斐史子(ヴァイオリン/ヴィオラ)

山本 尊(コントラバス)、中川賢一(ピアノ/ハーモニウム)

ゲスト

花野和加子(ヴァイオリン/ヴィオラ)、大友 暲(チェロ)、小松美穂(ヴォーカール)

2006年1月23日[月] 19:00開演(18:30開場)

東京オペラシティリサイタルホール

Tokyo Opera City Recital Hall

※本公演の収益の一部は、本ホールを拠点とする音楽家、音楽団体の活動支援に全額寄付させていただきます。

チケット(1回券):一般¥3,000・学生¥2,000(全席自由・消費税込み)

電子チケットのみ 0570-02-9990 <http://tj.pia.co.jp>

東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999

◎お問い合せはこちら

東京コンサーツ TEL:03-3226-9755 <http://www.tokyo-concerts.co.jp>

主催:アンサンブル・ノマド 協力:財団法人

財団法人 ローム ミュージック ファンデーション

賛助人:東京都芸術文化財団

平成17年度文化庁芸術創造活動拠点支援事業

武満 徹 (1930-96):声 ヴォイス (1971)

Toru TAKEMITSU (1930-96): Voice (1971)

本ノ脇道元 (fl)

近藤 謙 (1947-):フォーリング (1973)

Jo KONDO (1947-): Falling (1973)

甲斐史子 (vln)、花野和加子 (vln)、山本 尊 (cb)、中川賢一 (elec-pf)

武満 徹 (1930-96):フォリオス (1974)

Toru TAKEMITSU (1930-96): Folios (1974)

佐藤紀雄 (git)

池辺晋一郎 (1943-):トリヴァランス II (1973)

Shin-shiro IKEDA (1943-): TRIVALANCE II (1973)

菊地秀夫 (cl)、大友 暲 (vc)、中川賢一 (pf)

湊浅雄二 (1929-):演奏詩「呼び交わり」(1973)

Joji YUASA (1929-): Performing Poem "Calling Together" (1973)

佐藤紀雄、本ノ脇道元、菊地秀夫、甲斐史子、山本 尊、中川賢一、花野和加子、

大友 暲、小松美穂(以上、ヴォーカール)

武満 徹 (1930-96):フォー・アウェイ (1973)

Toru TAKEMITSU (1930-96): For away (1973)

中川賢一 (pf)

近藤 謙 (1947-):歩く (1976)

Jo KONDO (1947-): Walk (1976)

本ノ脇道元 (fl)、中川賢一 (pf)

武満 徹 (1930-96):カトレーン II (1977)

Toru TAKEMITSU (1930-96): Quatrain II (1977)

菊地秀夫 (cl)、甲斐史子 (vn)、大友 暲 (vc)、中川賢一 (pf)



NOMAD

2005-06/#29